

近思錄示蒙句解

卷

□ 13
1907
4



仁 13
1907
4

近思錄示蒙句解卷之三 凡七十八條

致知類

學ヲ爲ルノ。必知ヲ致スヲ以テ先トス。コノ故ニ。此篇爲學ニ次グ。

伊川先生答朱長文書曰。心通乎道。然後

能辨是非。如持權衡以較輕重。

道トハ。事物當然ノ理。コレニ通ストハ。

明ニサトル義ナリ。權衡ハ。ハカリナリ。オモシヲ權ト云。サホヲ衡ト云。人ヨク道ニ通ル後ニ。萬理ノ是非ヲ辨ルハ。ナラ。秤ヲトリテ。物ノ輕重ヲハカルガ如シ。

孟子所謂知言是也。

知言トハ。天下ノ人ノ詞ニカケテ云ホドノ道理ヲ。コトバクキハメ知ル。

心不通於道。而較古人之是非。猶不持

權衡而酌輕重。

古人ノ是非トハ。ソノ爲ル所ノ事ト云所ノ言トヲカキテ云。竭其目力。

近思錄句解卷之三

勞其心智。雖使時中。亦古人所謂億則屢

中。君子不貴也。億則屢中トハ。論語ニ夫子子貢が智ヲ評シ玉フ詞

アタルコトアルヲ云。蓋シ事ノ是非ヲハ。秤ナクメ物ヲハカル者ノ眼カシ

ツクシ。心智ヲ勞ラシメテ。タマノ、アタル時アルガ如クナラシム。凡亦コレ

伊川先生答門人曰。孔孟之門。豈皆賢哲

固多衆人。若ハ。智ノサトキヲ云。衆人トハ。衆以衆人觀聖

賢。弗識者多矣。聖ハ。孔子ヲサス。賢ハ。孟子ヲサス。衆人ノ眼ヲ以

惟其不敢信己。而信其師。是故求而後

得。衆人トイヘ。凡ハ。己ガ見ル所ヲ信ゼズ。ヒタスヲ師ノ教ヲ今諸君

於頤言。纔不合。則置不後。思所以終異也。

諸君トハ。門人ヲサス。頤トハ。程子自名ヲ稱ス。云意ハ。諸君ワガ説ヲキ、テ。ワ

不可便放下。更且思之。致知之方也。

放下トハ。手ハナチスツル義ナリ。タトヒ心ニアハズ。凡ハ。ウチステズ。更ニ

所ヨリイマダ知ラサル所ヘ。ヲシ致シテ。コレヲキハムル義ナリ。○ケレ後

正サレシメテ求ム。コノ故ニ。初ハ。コノ口エガタキ所アリ。凡ハ。レバラクヒラニ

師ノ教ヲ信ズベシ。モレ不幸ニ。明師ニアハザル時ハ。其道ノ正キ先儒ノ説

ラ信スルモ。ホカリノ如クスベシ。然ル時ハ。其心專一ナルニヨリテ。功ツモシ

スル心專ナラザレバ。ワガ生レツキノ資質ヲスコシ改メタルハカリニテ。ラ
ハルナリ。又諸説ヲキ、アツメテ。其ヨキ處ヲトリアハセテ。用ヒントスル者
ハ。ツイニ其路ニフミマヨヒテ。方角ヲ失フニ至ル。然レハ學ヲス
ル道ノ得失ハ。只師ヲ信スルト己ヲ信スルトニヨリテ。ワカル、ナリ。

伊川先生答横渠先生曰。コレ張子ノ問ヘル所ノ議論
ニ。程子ノ答ヘラレシ書ナリ。

所論大槩有苦心極力之象而無寬裕温
厚之氣非明睿所照而考索至此

論スル所。大槩
ソノ氣象心ヲ
苦メカラ極メテ。寛ク裕ニ温ク厚キ所ナシ。コレ智ノ明ニ睿キヨリ照
シ見ル所ニアラス。思慮ヲ以テ考へ索メテ。コ、ニ至レル者ナリト。

故
意屢偏而言多空。小出入時有之。

意シバク、偏
ニメ全カラス。

明所照者如日所觀

纖微盡識之矣。考索至者如揣料於物約

見髮鬚爾能無差乎。

トハ。大カタニ見ル義ナ
リ。髮鬚ハ。ホノカナル兒
更願完養思慮。涵泳義理。他

日自當條暢。

涵泳義理トハ。涵ハ水ニヒタス。泳ハ水ヲクハルナリ。義理ヲ以テ心ヲ動スニ
ヒタシイレヨトゾ。コレ寛裕温厚ノ意ライヘリ。他日ハ。後ヨリ。條トハ。フサ

ガレル處ノ。アヤスチワカル、義ナリ。暢トハ。クヅモレル處
ビヨク義ナリ。コレ涵養久キ後ニ。明睿自然ニ生ズル效ライヘリ。

欲知得與不得於心氣上驗之。

道理ヲ真ニサナリ
得タルトイニ。得
ザルトハ。心神氣象ノ上ニ
ツキテ。自コ、ロミルベシト。

思慮有得中心悅豫沛然

行思録句解卷之三

有裕者實得也

悦豫ハヨロコブナリ。沛然ハ雨水ノ多キ兒ナリ。道理ヲ思ヒ得ル一アル時ニ。心中ヨロコバシク。

沛然トウルホヒコタカナル。オボエアル者ハコレ真實ニ得タルナリ。

思慮有得心氣勞耗者

實未得也強揣度耳

思ヒ得ルコトアリトイヘ。心氣勞シ耗リテ。ナヤマシキ者ハ。實ニハイマダ得

ズ。尺コレシ井テ。擲リ度レルナリ。

嘗有人言比因學道思慮心虛

道ヲ學ブ思慮ニヨリテ。曰人血氣固有虛實疾病之

來聖賢所不免

モト血氣ノ虛ヨリノ病ヲ生スルハ。ハダシヒマカシ又所ナリ。

然未聞

自古聖賢因學而致心疾者

義理ヲルテ。優柔厭飲ニヒタル養ヘバ。心氣清

ニモウルホフ者ニコソハア。學問ニヨリテ。心虛ノ疾ヲ致ス。古來イマダツノタメラキカスト。

今日雜信鬼怪異說者只是不先燭理

今日

時ナリ。鬼怪トハ。鬼物ノナスリザニテ。怪シタル一アルヲ云。異說モ。常ニ異ナル。アヤシキ說ヲ云。此等ノ一ヲ。心ニトリ雜ヘテ信ズ。一。智クヲクマ。マツ道理ヲテラマ

若於事上一一理會則有甚盡期

一ナキ故ナリ。此理會ハ。工夫ヲ以テ云。モシ不審ナル事ニツキテ。一ト々ニ理會ノ。其理ヲ明サントセバ。天下ノ萬變キハマリナキ故ニ。ナンゾ盡期。一ランヤ。

只於學上理會

只學問講習ノ上ニツキテ。理會スベシト。蓋シ道ハメザレ。ヒ。ラノゾカラホドケテ。疑ナシ。モシナライマダトケカタキ

アリ。道理ノ本ヲ信ズルニヨリテ。コレニ惑ハサル。一ナキナリ。

學原於思

人ノ心ハ。思フヲ以テ用トス。心モト萬理ヲ具レ。思フハ。只善ク思フニ本ヅクナリ。サレ。此。思フト云ハ。心ヲ義理ニ涵シ。厭ミメテ。

忘ル。一ナキヲ云。コレニヨリテ。明睿ヲノゾカラ生スルナリ。心カラツク

テ。レサアホル
ヲ云ニアラス。

○所謂日月至焉與久而不息者所見規模

雖略相似其意味氣象迥別規模トハ。地ノトリマハ

レ。或ハ月ニ一タビ至ル。只顔子ノミ一タビ仁ニ至レバ。三月コレニ違ハス。マ

ハ。ホ、相似タリトイヘ。ソノ氣味ノ淺深厚薄ハ。ハルカニコトナル所アル

ナ。須心潛默識玩索久之庶幾自得日月ニ至

違ハザルトノ意味氣象ヲ。心ヒソマリテ。默ノワキ識ルベシ。學者不

學聖人則已欲學之須熟玩味聖人之氣

象不可只於名上理會如此只是講論文

字云息ハ只上ニ云ノニニアラス。凡ソ學者モシ聖人ヲ學ビスハ學ビガ

ツキテツテノノ氣象ヲ玩ビ味ハフベシ。只ソノ言行ノ題目ノ義ノ上

ルノ學ニノ聖人ヲ

○問忠信進德之事固可勉強然致知甚難

忠信進德ノ義前章ニ見エタリ。此問ヒノ意カ行ノ一ハ。勉メ強テモ

川先生曰學者固當勉強然須是知了方

行得力行ノ一。勿論勉強スベシ。然レモ。道理ヲ知リア若不知只

是觀却竟學他行事無竟許多聰明睿知

怎生得如他動容周旋中禮觀却トハウカバヒ見ラ

ハカレト云カ如シ即竟ラサシ云聰ハ耳トシ明ハ目アテラカナリ睿ハ通ゼ

ズト云ナシ知ハ照ラサズト云ナシ皆知ノ至レルヲ云動容周旋中禮

トハ動キハタラク容ノ周リ旋ル曲折ノ處ニデラ如子所言是

ノヅカラ礼節ニアタルゾコレ行ノ熟セルヲ云子ガ勉強ト云ハ只コレ

篤信而固守之非固有之也ソノ知ル所ヲアツク信

ノカタク守ルト云者ナリモトヨリ己ニ有未致知便欲誠意

ル所ノ徳ヲ自然ニ行ヒ出セルニアラスト是躡等也

誠意トハ忠信ノ行ニアテ云コレ勉強行者

是躡等也大學ノ次第ニタカヘルヲ云

安能持久カニマカセテスルヲハ又

除非燭理明自キ後ニ必ヲコタルトナリ

然樂循理勉強スルヲ性本善循理而行是順

理事本亦不難但為人不知旋安排着便

道難也旋トハラヒト云カ如シ着ハツケ字ナリ人ノ性モト善ナ

サルナルニヨリテモト難キニアラス只人ニツ理ヲ知ラズノ事ニノゾ

ミテラヒノニ安排ノソノ間ニアハセントスルニヨリテ難キトイヒテ

コレヲ勉強スルニナリ知有少般數然有深淺般トハ様ト云

理ヲ知ルト云ニ又フコハクノ様子學者ノ知ヲ致スコハ必真實ニ知

ノ數アリテソノ深淺ハテ分コトナリト得是便泰然行將去也

得是便泰然行將去也學者ノ知ヲ致スコハ必真實ニ知

ヅカニ是ト見ルヲ泰然トヌタカニ行ヒ其年二十時解

釋經義與今無異然思今日覺得意味與

少時自別某トハ程子自順ト稱セラレタルヲ語ヲ記ス者名ライニ

トカハラ子也今思へバ今日ハソノ意味ヲ覺リ得ルコトヲカクメワカシ

其初ツモリテ後ニ真知ノト。フノツカラコトナリト。コレ致知ノ工夫ハ。只文義ヲ明スバカリニアラス。

凡一物上有一理須是窮致其理物トハ事ヲカ

或讀書講明義理或論古今人物別其窮理亦多端

是非人物トハ只或應接事物而處其當事ニ應レ物ニ

皆窮理也上ニ云フ。ミナ窮理ノ工夫ナリト。

或問格物須物物格之還只格一中ニモ書ラヨミテ義理ヲ講スル

物而萬理皆知格物トハ事物ノ理ニキハメ格リテ曰怎

得便會貫通テニ貫通スルコトナリ。若只格一物

便通衆理雖顏子亦不敢如此道一物ニ格リテ

須是今日格一件明白即衆ノ理ニ通

又格一件積習既多然後脫然自有貫通

處一件トハ一條ノ義ナリ。毎日一理ヲキハメテ。積リ習ルコト多キ後ニハ。

必シモ天下ノ理ヲキハメツクサレ也。脱然ト又ケイテタルヤウニナ

ル時節至リテ自然ニ衆
理貫通スル處アルナリ。

又曰所務於窮理者非道盡

窮了天下萬物之理又不道是窮得一理

便到只要積累多後自然見去

積累一ハツモリカ
サナルゾ見去トハ

見得テ貫通シ
モテユクナリ。

思曰睿思慮久後睿自然生

思曰睿トハ書ノ洪範ノ
文ナリ。思フニツキタル

於一事上思未得且別換一事思之不可

若

專守着這一事

理ヲキハムル間ニモシテ事ノ上ニライテイマ
ダ思ヒ得ズハシバラク共事ヲサレラキ別ニ

事ヲカヘテ思フベシ。
コレ窮理ノ活法ナリ。

蓋人之知識於這裏蔽着雖

強思亦不通也

人心ノ知識靈ナリトイヘバ思ヒテ得ザルコト
ルハ知識這ノ裏ニライテ蔽ハルコトアル故ナ

問人有志於學然知識蔽固力量不至則

知之何

知識蔽固マリテ。理ニクタク力量志ス所ニ
至ラスノ行フコトノカタキハイカハスベキト。

曰只是

致知若智識明則力量自進

知ヲ致メ智識明ニナレ
バ力量モマシテヲノツ

カラ進ニ出ル故ニ

行フコトヤスキナリ

問觀物察己還因見物反求諸身否

問者ノ意
大學ノ致

知在格物ト云フ物ノ理ヲ見テ。已ガ知ラ察スト云ニトル説ヲトフ。已ハ本ニ
ノ物ハ格ナルニ。コレ還テ物ノ理ヲ見ルニヨリテ。則身ニ反リ求メテ其知ラ
致ス。曰不必如此説物我一理纔明彼即曉

此此合内外之道也。理ハ物ニアルモ。我ニアルモ。本一貫ス。
ヨリテワヅカニ彼ニアル理ヲキハム

レハ即此ニアル理ヲサトリテ。其知即明ナリ。彼此時モカハラズ。處モコトナ
ラス。コレ内ニシテ。外ニシテ。物ノ理ヲ合セタル道ナリト。コレ中庸ノ文ナレ

又問致知先求之四端如何。四端トハ
孟子ニ

曰求之情性
固是切於身。禮智ハ性ナリ。然一草一木皆有理。

須是察。天下ノ理精粗大小トナク。スベテ一貫ス。一草一木ノ理

又

曰自一身之中以至萬物之理但理會得

多相次自然豁然有覺處。相次トハツヒキテタエサル
ナリ。豁然トハホカヲカシ

ラクル義ナリ。覺ハ悟ルナリ。

思曰睿睿作聖。コレ洪範ノ全文ナリ。思フノ徳ヲ致思如

掘井初有渾水久後稍引動得清者出來

人思慮始

皆溷濁久自明快。溷濁ハミナニゴルナリ。明快トハ水ノスミ

問如何是近思。論語ノ子夏曰以類而推。理ヲキハ

ワカステニ知リタル所ヨリ。近ク類シタル所ノ者ヲ以テ思ヒ得テ。ソレヨリ
又次第ニ近キヨリ推シ去リテ。コレヲ思フヲ。近ク思フト云ナリ。カクノ如ク
ナレバ。ソノ思フ所。條理分明ニモ。ユクサキノ路。通ジヤスシ。モ
等ヲコエテ。速ク思ヘバ。徒ニ心ヲ苦シメテ。ツイニ得ルナリシ。

學者先要會疑ソレ學ハ疑ヲトクニアラサレハス。マズサレ
比初學ハイニ父疑ノアル處ヲ知ラズヨリテ學

者ハ。ミツ疑ヲ生スルヤウニセン。一ヲ求メヨトナリ。朱子ノ云ク。書ハシメヨ
ム時。ハイニ父疑アル。一ヲ知ラズ。其次ニハ。漸クニ疑アリ。又其次ニハ。第ニ疑
アリ。此。一番ヲ過キラハリテ後ニ。疑漸クニトク。以テ融會貫通
スルニ至レハ。スベテ疑フベキナリ。方ニ始メテコレ學ナリ。

横渠先生答范巽之曰所訪物怪神姦此

非難語顧語未必信耳物怪トハ常ニカハリテ。怪キ物ア
ルヲ云。神姦トハ姦ハカクニシキ

孟子所論知性知天性ハ心ニ具ハル所
ノ理。天ハ又理ノ由

リテ出ル所ナリ。ステニ性ヲ。學至於知天。則物所從出。

當源源自見學識ステニ天ヲ知ルニ至レバ。此物イカヤウノ理ニ
ヨリテ出来ルト云。源々ト水ノ流レテ出ルヤウニ。

知所從出。則物之當有。當無。莫不

心論亦不待語而後知。妖怪ノ。イニ父道理ノ本ヲ知ラ
ザル時ハ。人其故ヲ語レ。信セス。

不為異端所却。進進不已。則物怪不須辨。

異端不必攻。不踰暮年。吾道勝矣。諸公トハ。門人
ヲサス。所論ト

今日ゴロイヒナル。常ニノ正キ説ヲ云。暮年トハ。トシ一メクリナリ。常論ヲ
信ジ守リテ。トリ失ハズ。異端ノ説ニ。ヒキムバ。レズイヨク。ワカ學ニ進ニ

進ンテヤマスハ自然ニ智明ニナリテ。物怪ノ一辨明スルヲマタス。異端ノ
説攻メキハムカニ及バズ。一年ヲコエズ。ワカ道カレニ勝テ。マドハサルノ
ナカラ。若欲委之無窮付之以不可知則學
為疑撓智為物昏交來無間卒無以自存
而溺於怪妄必矣。モレ又ソノ然ル所以ヲキハメズ。只コレ
ヲ天下ノ理窮リナキ處ニ委子ヲキ。然リ知
ラレザル一ニ付ケヤリテウチスギナク欲セバ。其學疑ヒニヒキ撓マサレ
其智物ニオホヒクテマサレ。邪説カナタコナタヨリ交來リテヒマナリ。ツイ
ニフノ守ル所ノ者ヲ自タモク存スルニタエ
ス。怪妄ノ一ニマヨヒオホレ一必セリ。

子貢謂夫子之言性與天道不可得而聞
性トハ人心ウクル所ノ天理。天トハ天理自然ノ本体ナリ。
不可得而聞トハ其理精微ニノキ。エカタキ一ライヘリ。 既言夫子

之言則是居常語之矣。居常トハ平居
常且ト云義ナリ。 聖門學者

以仁為己任不以苟知為得必以了悟為

聞因有是說。任トハ荷ト云義ナリ。了悟ハアキラメサトルナリ。聖
門ノ學者ハ仁ヲ以テ己カ任荷トメ。人ノカラヌノマ
ス。自實ニコレニ任セン一ヲ期ス。コノ故ニ。師説ヲ聞クニ。其意ヲアカラサマ
ニ知ルヲ以テ知レリトセス。必ず悟スルヲ以テ聞キ得タリトス。ヨリテナ貢
此説アリ。然レモコレハ
集註ノ意トコトナリ。

義理之學亦須深沈方有造非淺易輕浮

之可得也。義理ノ學重々キハマリナシ。深ク沈ミタルエヒヲ以テ方
ニフノ蘊奧ニ至ル一アルベシ。淺ク解リ。輕ク浮ヘルハ
以テ得ベキ一ニ
アラズトナリ。

○學不能推究事理只是心麤心ヲ用ルヲアラクメイ

○至如顏子未至於聖人處猶是心麤顏子

トイヘ凡イニダ聖人ニ至ラザルハ其心ナラアラキ處アル故ナリヨリア
フノ仁ニラケルハ三月ヲ歷シバ一タビ間斷アリ聖人ノ純ニメヤマザルガ
如クナルハ一テ

タハザルナリ

○博學於文者只要得習坎心亨蓋人經歷

○險阻艱難然後其心亨通習坎心亨トハ易坎卦ノ詞ナリ

ノ義ニトトル此卦上下三ナ坎ナル故ニ習坎ト云經歷ハ三ナフルナリ凡ソ人
險阻艱難ヲ歷テ練磨スル時ハ則ソノ心熟名通達スルヲ得ルナリヨリテ
孔門ノ教博ク文ヲ學ブ一モソコハクノ疑難ヲ經テコレヲ
ホトクノ後ニハジメテ其心トヲリテオサトルヲアルナリ

○義理有疑則濯去舊見以來新意義理ヲキ

○處アリテ通ジカタクハシバラク舊見イレタル意ヲ

○濯ヒ去テ別ニ新キ意ノ出來レヤウニセヨトナリ

○即便劄記不思則還塞之矣劄記ハミナシスナリ

○所アラバ即時ニコレラレルトメヨカクノ如クスレバイヨノクヌム所

○アリモニコレラ思ハサレバ則又フサカリテ其趣ヲ忘ルナリコレ玉子

○山ノカヨヒチヲ入コレニ由リテ往來スレバ則タ千ニ路トナリテカク

○シナシモシシバラクモコレニ由ラザレバ則又某オヒテコレヲフサグト云

○別須日日如此講論久則自覺進也自覺ノ事

○義ヲトリ更須得朋友之助一日之間意思差

○テイヘリ更須得朋友之助一日之間意思差

○ラス更ニ又朋友ト共ニ講習ノ其助ケヲ得ベシ一日ノ間ニモフノコ、子、以

○前トコトナルハ一アラン日々ニイヨノ、カクノ如クニ講論セバ久クメ後ニ

其學ヲノヅカラ進ム
一ヲ覺エントナリ。

○凡致思到說不得處始復審思明辨乃為

善學也凡フ理ヲキハメテ思ラ致ス間ニ詞ノ説キ得通ラザル處ニ到
ラバ。ステラカズメ。コレヨリハジメテ又審ニ思ヒ明ニ辨ルエ

夫ヲ用フベシ乃コレキハカクニカ
テ若告子則到說不得處遂已

更不復求告子ガ云ク。言ニ得ズハ心ニ求ルナカレト。カクノ如キ
ハ。則コレトキ得ザル處ニ到リんツイニヤメテ又通セン

一ヲ求メズヨリテ孟子コレヲソレシレリ。○此ヨリ以上ハ
スベテ致知ノ方ヲ論ス。此ヨリ以下ハ。專書ヲ讀ム法ヲ示ス。

○伊川先生曰凡看文字先須曉其文義然

後可求其意文字トハ。經書
ノ文字ヲ云。未有文義不曉而見

意者也。

○學者要自得道理ヲ自然ニ得テ。
真實ニ知ルヲ云。六經浩渺乍來難

盡曉易書詩春秋禮樂ヲ六經トス。浩渺トハ水ノ大イナル見。
ソノ載スル所ノ事理廣大ナルヲ云。乍來ハ多クニチナル義ナリ。且見

得路徑後各自立得一箇門庭歸而求之

可矣各自トハ。面々ト云義ナリ。一箇諸經ノ趣ク所ノ路ヲ知リテ。次ニ各
ソノ門庭ノ地ドリヲ。タテカマヘヨトナリ。書ハ古帝王ノ迹ヲ考ヘ

テ。後世ノ鑒トスル一ヲ知ル。詩ハ古人ノ歌謠ヲ誦ム人情ヲ正ス。道トスル

一ヲ知ル。コレ路徑ヲ見得ルナリ。然レ後書ノ二典三謨ハ。唐虞ノ盛世君臣ノ

徳業ヲ見。夏商周ノ三書ハ。三代ノ治亂ノ故ヲ見ルトス。詩ノ二南國風ハ。周
ノ王化列國ノ俗ノ美惡ヲ見。二雅ハ。朝廷ノ政務ノ得失ヲ見。三頌ハ。宗廟ノ祭
ニ。君徳ヲホムルノ一トス。コレ各自ニ門庭ヲ立ルナリ。餘經モ皆カクノ如シ。
コレレバハ。ミナ師友ニウケテ知ル所ナリ。其上ノ詳細ナリ。一公家ニ歸リテ。

○凡解文字。但易其心。自見理。理只是人理。

甚分明。如一條平坦底道路。詩曰。周道如砥。其直如矢。此之謂也。

或曰。聖人之言。恐不可以淺

近看。他曰。聖人之言。自有近處。自有深遠。

處。如近處。怎生強要鑿教深遠。得楊子曰。

聖人之言。遠如天。賢人言。近如地。願欲改

之曰。聖人之言。其遠如天。其近如地。

學者不泥文義者。又全背却遠去。

理會文義者。又滯泥不通。

如子濯孺子為將之事。孟子只取

其不背師之意。人須就上面理會事。君之

道如何也。

此ヨリ下ハ。ミナ文義ニナツム弊ヲイヘリ。子濯孺子ハ。鄭ヨリ孺子ヲ太將トメ衛ヲ侵ス。衛ニハ

人射ノ上ナリ。鄭ヨリ孺子ヲ太將トメ衛ヲ侵ス。衛ニハ

道如何也。

庾公之斯ヲモ。コレヲフセガシム。之斯ハ孺子カ孫弟子ニテ。コレモ射ヲ善ク
ス。衛人カチテ。孺子ヲ追フ時ニ。孺子疾オコリテ弓ヲエヒカス。之斯ヲヒツキ。コ
ノヨシヲキ、テ。孺子ヲイコロスニシノビズ。サレバ。今日ノ事ハ。若事ナ
リ。ステガタシトイヒテ。鏃ヲタ、キステ。四矢イカケテ後ニカヘリ。又

如萬章問舜完廩浚井事孟子只答他太

意人須要理會浚井如何出得來完廩又

怎生下得來舜ノ父瞽瞍。後ノ妻ニマドヒ。其子象ト共ニ舜ヲ殺サ
テ火ヲカク。舜笠ニツラモチテ。トヒヲリ玉フ。又井ノソコヲサラヘシメ。上ヨ
リユライレテウツム。舜スケアナラシテ出玉フ。象コレヲ知ラス。舜ノ所ヘユ
キテ。アラユル物ヲムバヒトラントス。舜ノイマヌヲ見テ羞タリ。舜イウニス
ノ。反テコレヲ親愛シ玉フ。萬章此事ヲアゲテ。舜イツハリテ愛シ玉フカト問
ヒケレバ。孟子只仁人ソノ弟ニライテ。怒ヲカクサス。怒ミ
ヲトメザル。大意バカリヲ答ヘテ。其事ノ有無ヲ辨セズ。若此之學

徒費心力
凡觀書不可以相類泥其義不爾則字字
相梗當觀其文勢上下之意其詞ノ相似タルヲ以
テ。其義ニナツミ。レ井テ其意ヲ
一ツニトラザルベキヲライヘリ。
如克實之謂美與詩之
美不同充實之謂美。孟子ノ語ナリ。其德内ニ三チミテ。ルヲ美人ト稱
ス。詩ニ人ヲ美ト云ハ。大抵ソノ容兒威儀ノウツクシキヲ云
或ハ德ノウルハシキヲ云フアリ
トイヘ。亦孟子ノ意ト同ジカラズ。

問瑩中嘗愛文中子或問學易子曰終日

乾乾可也瑩中姓ハ陳名ハ瑾。瑩中ハ其字ナリ。忠肅ト謚ス。宋人ナリ。
文中子ハ。隋ノ王通カ著ハセル書ノ名。子トハ其門人師ヲ稱

近思錄同解卷之三

スルノ詞。云意ハ人ヨク終日乾々ノ語
ニ体立ハ。易道ノ大要ヲ得ベシトナリ。
此語最盡文王所以

聖亦只是箇不已
コレ程子ニ問フ者。筮中ガ文中子ノ語ヲ愛
シタル意ヲ述テイヘリ。即中庸ニ天道至誠

先生曰凡說經義如
ニ息ムコナレ。文王ノ徳モ亦純ニ
ノ已、スト云ヲトリテイヘルナリ。

只管節節推上去可知是盡
凡ソ經義ヲトク。カク
ノ如クニ。其中ノ要語ヲ

夫終日乾
トリテ。ヒタスラ節々ニ其理ヲ高クヲレアゲテユカハ。
コレニテ一經ノ大意ヲモツクワント。知ラル、ナリ。

乾未盡得易據此一句只做得九二使
乾々ノ語實ハイマダ易ノ義ヲツクシ得ス。此一句ノマ、
ニ據シハ。只コレ乾ノ九三トナシテ。使ヒ用ルバカリナリ。

若謂乾乾
是不已不已又是道漸漸推去自然是盡
若モイフ

只是理不如此
所以ノ者ハ又コレ道ナリトイヒテ。漸々エラシ
アゲユカハ。自然ニ一經ノ義モコレ盡キナン。然レモ。只コレ高キヲケニ。

子在川上曰逝者如斯夫言道之體如此
イニテスル、ナリ。モハク、ナリ。イニテ、スル、ナリ。

這裏須是自見得
論語ニ。夫子川ノホトリニ在シテ。水ノ流ル
ヲ見テノ玉ハク。逝ク者ハカクノ如キカ。盡

夜ヲステスト云意ハ道ノ体タラカクノ如シトナリ
夜ヲステスト。云意ハ道ノ体タラカクノ如シトナリ。這ノ水流ノ裏ニツキ

元自道体ヲ見得スベシトナリ。蓋シ天地ノ運化ユク者過グレハ来ル者續ク
元自道体ヲ見得スベシトナリ。蓋シ天地ノ運化ユク者過グレハ来ル者續ク

一息ノ間モヤムコナキ。水流ノ如シ。乃コレ道体ノ本然ナリ。聖人コ
一息ノ間モヤムコナキ。水流ノ如シ。乃コレ道体ノ本然ナリ。聖人コ

レヲ學者ニ示ス。亦ソノ時々ニ省察ノ毫髮モ間断ナカラマク欲メナリ。
レヲ學者ニ示ス。亦ソノ時々ニ省察ノ毫髮モ間断ナカラマク欲メナリ。

張
繹曰此便是無窮
張繹字ハ子叔。程子ノ門人ナリ。云意

生曰固是道無窮然怎生一箇無窮便道
生曰固是道無窮然怎生一箇無窮便道

了得他ナンゾ一ツノ無窮ト云バカリニテ。即カノ道体ヲイヒ了リ得

今人不曾讀書此章モ亦論語ノ文ヲアケテ書ラ如誦詩ヨムノ法ヲ論ス會ハ會得ナリ。

三百授之以政不達使於四方不能專對ハヒトリ

雖多亦奚以為詩ハ人情ニ本ヅキ。物理ニアマ子ク。風俗ノ盛衰

須是未讀詩時不達於コトニ至リテ後ニ始メテコ

政不能專對既讀詩後便達於政能專對コトニ至リテ後ニ始メテコ

四方始是讀詩コトニ至リテ後ニ始メテコ人而不為ハヒトリ

周南召南其猶正牆面周南召南ノ云所。三ナ身ヲ脩メ家

未讀詩時如面牆到讀了後便不面牆方コトニ至リテ後ニ始メテコ

是有驗ハヒメテコレニ南ヲヨミ大抵讀書只此便コトニ至リテ後ニ始メテコ

是法此トハ上丈ヲサス。凡ソ書ヲヨム如讀論語舊時未コトニ至リテ後ニ始メテコ

讀是這箇人及讀了後來又只是這箇人コトニ至リテ後ニ始メテコ

便是不曾讀也舊時ハモレ、云義ナリ。章

凡看文字如七年一世百年之事皆當思コトニ至リテ後ニ始メテコ

近切ナル一ヲ學ビ得ズバ。正ムキニ牆ニムカヒテ立ルガ如クニ。至

リテ近キ處ニテモ即一物モ見ル所ナク。一歩モユカレマシトナリ。須是

其如何作為乃有益

論語ニ子曰善人教民七年亦可以即戎矣又曰如有王者必世而後仁又曰善人

為邦百年亦可以勝殘去殺矣世トハ人ノ一代九ノ三十年ヲ云即戎トハ兵革ノ事ニ從フゾ仁トハ民仁ニ化スルゾ勝殘トハコトトク殘暴ノ人ヲ化メ惡ラセザラシムルゾ去殺トハ民善ニ化メ死刑ヲ用ヒサルゾカクノ如キノ類ニナ其字紀ノ内ニイカヤウニ作為ノナルト思ヒミテ乃益アリ只聖賢ナレバカクノ如クナルト見ス

凡解經不同無害但緊要處不可不同爾

凡ソ經義ヲトクニ末々ノ同ジカラザルハ害ナシサレバ緊要ニメカナメトスル處人々同ジカラサレバ其間ニ聖賢ノ本意ニ背ク所アリテ道ヲ害多シ燁初到問為學之方先生曰公要知為學須是讀書書不必多看要知其約多看而

不知其約書肆耳

約トハ簡要ノ處ヲ云書肆トハ肆ハイチクヲナリ書ヲウレタナラ云

少時讀書貪多如今多忘了須是將聖人

言語玩味入心記着然後力去行之自有

所得

玩味ハモテアフビアヂハフゾ記着ハオホユルゾ玩味ニヨリテ忘レズ又コレヲカノ行フニヨリテ自得メ始メテワカ物トナルナリ

初學入德之門無如大學

入德之門トハ徳ヲ成ス道ヲ入ル所ノ門ナリコレ學者

ヅ大學ヲヨムベキヲイヘリ朱子ノ云ク大學ハ規模大イナリトイヘ然首尾カ子ソナハリテ綱領尋又ベク節目分明ニメ工夫序アリ學者ノ日用ニ切ナルニアラ

其他莫如語孟

其他ノ書ニ學者ノ急務トメヨムベキハ又論語孟子ニレク者ナレ

ト其義ハ下ノ
章々ニ見エタリ。

學者先須讀論孟窮得語孟自有要約處

以此觀他經甚省力論孟ノ書ヲヨム時ハソノ得ル所ノ道
理簡要ニメ約マリタル處アル故ニコ

論孟如丈尺權衡レヲ以テ他ノ經書ヲヨメバ。ミナ其義ニ
通ジヤスクメ。カラ用ル。甚ハケルナリ。

相似以此去量度事物自然見得長短輕

重チヨウノ
丈尺ハ長短ヲハカルサホ。權衡ハ輕重ヲハカル秤ナリ。量度ハミナハカ
ルナリ。論孟ノ書ニノスル所其理を學者ノ身心日用ニ切ナルヲ以テ。コ

レヲヨム者。只他經ノヨミヤスキノミナラス。凡ソ事物ノ理ニライテモ亦ラ
ノヅカラ分明ナル故ニ。ミナソノ宜キ處ヲ見得テ。コレヲ處置スルヲヤスミ
ナラ權度ヲ以テ物
ヲハカルカ如キゾ。

讀論語者但將諸弟子問處便作已問將

聖人答處便作今日耳聞自然有得今日耳聞
トハ今日

若能於ワカ耳ニキ、入ル、所ナリ。論語ヲ深ク心ニ入レテヨム。コ
コニ云所ノ如クナラハ。自然ニ其趣ヲ會得スルヲアラントゾ。若能於

論孟中深求玩味將來涵養成甚生氣質將來ハ。ミサニ來ラントスルナリ。ユクサキノヲ云。學者ヨク此ニ書ノ中ニ
ライテ。深ク求メテ。玩ビ味ヘハ。聖賢ノ意味氣象ヲノツカラワカ心ニウツリ
ノム故ヲ以テ。後來ヤウヤクニ。涵養ニ成シテ。甚ヨキ氣質ヲ生セントナリ。朱
子モ書ヲヨムヲ。一舉兩得トイヘリ。讀書ハモト致知ノヲナレ也。ヨクヨム
者ハ兼テ涵養ノ功ヲ得ル故ニ。
一ヲ舉ケテ。兩ツヲカラ得ルナリ。

凡看語孟且須熟讀玩味將聖人之言語

近思錄句解卷三

十九

切己不可只作一場話説熟讀トハ熟ハ生シキニ對ノ

人只看得此一書切己終身儘多切己トハワカ身ニヒシトツケテスキマノナキコト云聖人ノ

也人只此二書ノ道理ヲ己ニ切ニヨミ得タラバ下生

論語有讀了後全無事者論語ヲヨミラハリテ後ニ全

有讀了後其中得一兩句喜者云即節テヨマザル

有讀了後不知手之其心此一兩句ノ理ニヒラケテコレニ通スル故ニ

舞之足之蹈之者コレ樂記ノ丈ヲ引テ好ムノノ深クノコレ

學者當以論語孟子爲本テ其義ニ通ズヘシトナリ

語孟子既治則六經可不治而明矣ハレク治

讀書者當觀聖人所以作經之メサレモ其義明メ

意與聖人所以用心聖人此經述作ノ大意何ノタメゾモ又

與聖人所以至聖人而吾之所以未肯趣トラ

至者所以未得者又聖人其徳ヲ成シテ聖人ニ至ル所ノ者ト

見ルベシ

トナラザル所ノ者トヲ見ルベシト。以上
ハミナ義ノ外ニ見トルベキナリ。

句句而求之畫誦

而味之中夜而思之誦ストハソラニヨム。中夜ハ夜中ナリ。句々ニメ求ルハ察スルノツマヒ

平其心易其氣ラカナル。晝味ヒ夜思フハ思フノ熟スル。平其心易其氣關其疑則聖

人之意見矣其心ヲ平カニスルハ心中ラムナレクスルナリ。其氣

レシナ文義ヲウカチテ求メザルヲ云。而メナラ疑ハレキヲアレバコレヲ

カキテ其義ニシテ通ゼントセズカクノ如クニスレバヨク聖人ノ意趣ヲ

見得ルナリ。

讀論語孟子而不知道所謂雖多亦奚以

爲論孟ノ書ハ此道ノ總會ニメ。体用カ子明ニ精粗コトク備ハル。コレ

訓詁ノ學ニメ何ノ用ヲモナサハナリ。

論語孟子只剩讀着便自意足義ステニ通ス。ナラクリカヘシテアルホドヨム時ハ。即フノ意味ヲノツカラ心中ニミチ足ルナリ。學者須是

玩味若以語言解着意便不足以テソノ旨趣ヲ玩ビ味フベシ。只詞ヲ以テソノ文義ヲ解釋スルバカリニテハ其意タラスナリ。某始作一書文

字既而思之又似剩字トハ。浮解ノ文字ヲ云。蓋シ此ノ書ヲ得ベシヨリテステニ浮解ヲシカケツレド。又只有些先儒錯

會處却待與整理過思ヒミルニコレモ餘リテ無用ナルニ似タリト。只スコシ先儒ノ錯リテ會得スル處ア

會處却待與整理過レハ本意ニアラザルヲ以テコレガタ

メニ整シ埋メテトラルヲ待テ然ソ後ニ
明チリヨリテコレハスベキナルトゾ

問且將語孟緊要處看如何緊要處トハ緊ハ急ニト
リシメタル義ナリ。最切

要ナル處ヲ云コレヲエラビヌキ
テクハシク見バイカアルキト。伊川曰固是好コレモヨ
キナリト。然

若有得終不浹洽浹洽トハ物ヲ水ニヒタシテ内外ウルホヒ
トアルヲ云。緊要ノ處ヲ見テモシ道理ヲ

惴り得ルアアリ也。ホツイニ萬理貫通スルアタハス。
火ノ水ニ物ヲヒタシテ浹洽セザルガ如クナラズ。蓋吾道非

如釋氏一見了便從空寂去釋氏ノ學ハワヅカニ其
道ヲ見ツクレバ即一切

ヲステ。虚空寂滅ノ境界ニ從ヒユク。儒者ノ道ハカクノ如ク
ナラズ。必浹洽スルアアリテ後ニヨク通スルヲ得ルトゾ。

興於詩者。論語ノ文ナリ。詩ノ詞ハ人情ニイテ人ヲ感動スルヤ
スレヨリテ學者ノ善ヲコノミ。惡ヲニクム本心ヲヒキ

コソフ。詩ヲヨムニライ
吟詠情性。涵暢道德之中而

歆動之吟詠トハサマヨニウタフナリ。歆動トハ心ニ子ガヒテウゴク
義ナリ。詩ノ情性ヲ吟詠スル間ニワガ心道德ノ中ニ涵リ暢テ

子ガヒウゴクアアラシム。
有吾與點之氣象コレ論語ニ諸
子志ヲ述ルガ

コレ善心ヲ興ス所ナリ。
中ニ曾點ガ志ス所。廣大快活ニメ。夫子ノ心ヲ歆動スルアアル故ニコレヲ悦

ビテ吾ハ點ニユルサントノ玉フヲヒケリ。人詩ヲヨムニ興起ノ悦ヲ所ア
ル。此氣象ノ如ク
又云興於詩是興起人善意注

洋洋大旨是此意汪洋浩大ハミナ水ノ廣大ナル兒ナリ。凡ソ
詩ヲヨミテ人ノ善意ヲ興起スル勢盛ナ

ル。三十ナカク
ノ如シトナリ。

謝顯道云。明道先生善言詩ヨク詩ノ意
ヲカタルゾ。他又

渾不曾章解句釋但優游玩味吟我上下

便使人有得處優游ハユルクユタカナル意吟哦ハ咏吟ト同じ

ハスベテ章ゴト句ゴトニ其義ヲ解釋セズ只本丈ヲヨミテ優游ニ玩味シ吟

哦ノ音カリメリテオモシロク聞ク人ヲノ自然ニソノ旨趣ヲ會得スルヲア

ラシムト其事下ニ見エタリ瞻彼日月悠悠我思道之云遠曷

云能來思之切矣コレハ北風雄雉ノ篇ノ詞ナリ婦人ソノ夫

ガルラシタヒテ作レル詩ナリ云意ハカノ日解ノユキヲ見テ悠々ト久ク

ワレ思フ然レモ其道ハルカニ遠ケレバイツカソレヨク歸リ來ント而メソ

ノ大意ヲ釋ノ云クコレ終日百爾君子不知德行不

求何用不臧歸干正也コレ詩ノ終ノ章ノ詞君

子トハ其夫ヲ尊ビテ

又曰伯淳常談詩並不下一字訓話伯淳ハ明

有時只轉却一兩字點撥他念道ノ字ナ

過便教人省悟點撥トハトリアグル義ナリ他トハ詩ヲサス念

又曰古人所

以貴親炙之也親炙トハヨキ人ニ親ツキ火ニテ薰ヘ炙ラル

ヲ貴フハ。コソノ故ナリト。蓋シ謝氏明道ノ詩ノ教ヲ
キ、テ。直ニ其レヲウケタル者トイハルナリ。

○明道先生曰學者不可以不看詩看詩便

使人長一格價一格トハ一位ト云ガ如シ。詩ヲヨム時ハ其人ノ
時一等ス、ミテ貨物ノ價一段貴クナルガ如ク

ナルヲ
云ナリ。

○不以文害辭。文文字之文舉一字則

是文成句是辭蓋シ一字ヲアゲテ云時ハコレヲ文ト云字ヲカ
云意ハ文トハ文字ノ義ニテ文章ヲ云ニアラス。

詩為解一字不行却遷就他

說詩ヲヨム者モシ一字ノ義ヲ解キテ説キユカスハ世ノ義ニ
遷リ就キテ説キ通スベシト。コレ文ヲ以テ辭ヲ害セザルナリ。如有

○周不顯自是作文當如此コレ大雅ノ詩ノ文ナリ。有
ツケ字ナリ。云意ハ周家ノ功

德豈顯ナラザランヤトゾコレノ顯ナルヲホメテナリ。詩ノ作文ノ法カ
ヤウノ處ハソノ句ヅクリヲノヅカラコレカクノ如クナルベキゾモシコレ

ヲ直ニ顯ナラズトヨム時ハ
コレ文ヲ以テ辭ヲ害スルナリ。

○看書須要見二帝三王之道此章ハ尚書ゾヨムノ法
ヲ論ス。須要ハ三ナ求ル

如二典即求堯所以治民義ナリ。二帝ハ堯舜三主ハ
夏ノ禹殷ノ湯周ノ文武ナリ。

舜所以事君二典ハ堯典
舜典ナリ。

○中庸之書是孔門傳授傳授ハツタヘ
サヅクルナリ。成於子思

孟子此語中庸集略ニハ成於子思
傳孟子トアリ。此義然ルベシ。其書雖是雜記更不

分精粗。一衮說了。

一衮トハ按スルニ衮ハ滾ト同シ。ヒトマロハ記セ凡全篇ノ趣理ノ精キ粗キヲワカス。ウチ合セテ一滾ニ説ケリ。

却卑說本便遺却末。

高キト本トヲ説キテ。即卑キト末トヲ遺レ却ルハ。ゴシ老佛ノ説ニノ中甯ノ道ニアラス。

伊川先生易傳序曰易變易也隨時變易

以從道也。

此段ニツ易ノ名義ヲ釋ス。易トハ變易ノ義ナリ。聖人卦爻ヲ立テ解ヲ繫テ人ヲメ。時ノ變易ヲ見テツノ當然ノ理ニ從ハシメンタメニ作レリ。伏羲ハニメテ卦爻ヲ畫シ。文王周公コレニ辭ヲ繫ケモフコレ今ノ周易ナリ。

大悉備

コレヨリ下ハ易ノ書タルヲ贊美ス。凡ソ序中ニ引ク所ノ本文。ミナ繫辭傳ニ出タリ。此書ノ天卜ノ事理ニラケル。廣六ニノ

將以順性命之理通幽明之

故盡事物之情而示開物成務之道也。

性命ノ理トハ天地性命ヲ賦メ萬物ヲ造化スルノ道理ヲ云幽明トハ幽ハカスカ。明ハアキラカナリ。死生鬼神ノ類ヲサス。故トハソノ然ル所以ノ理ナリ。事物之情トハ物ノ情事ノ宜キ處ヲ云。開物トハ人ノイマダ知ラサル所ヲ始メテ開闢スルヲ云。成務トハ人ノ務メテ為ニク欲スル所ヲ全ク遂ゲ成スヲ云。

聖人之憂患後世可謂至矣。

此段上文ヲスベムス。云意ハ聖人ヲメ道ニ從ハシムルヲノアミ子ク又ツクセルヲ。カクノ如クナルハ。コレノノ後去

古雖遠遺經尚存。

此ヨリ下ハ傳作ル意ヲ説ク。古ヲ去ルヲ遠クメ。經典多クホロビタレ凡此經ハ幸ニ遺

然而前儒失意以傳言後學誦言而

忘味自秦而下蓋無傳矣前代ノ儒者ソノ本意ヲトリ

カキツタヘ。後來ノ學者ソノツタハレル言ノミヲ誦メ本末ノ意味ヲ忘ル。秦ヨリノコノカタ。易ノ本旨及エテ傳ハルコトナシ。蓋トハ疑フ詞ナリ。予

生千載之後悼斯文之湮晦將俾後人沿

流而求源此傳所以作也載八年ナリ。斯文トハ泛ク本道ヲ云詞ナレバ其意ハ易ヲ

易有聖人之道四焉

以言

者尚其辭易ノ辭ハソノ理精クメ人情ニ切ナリヨリテ易ヲ用ル者

以動者尚其變動クトハ凡ソ運動

以制器者尚其象制器トハ器物ヲ作ル

以卜筮

者尚其占凡ソ筮ハヒキテアル時ハ占ヒテコレヲ決ス。龜ヲ灼クヲ卜

吉凶消長之

理進退存亡之道備於辭吉凶ハ得失ナリ。消長ハキユ

消長アリ。消長ニヨリテ吉凶ヲナス。進退ハス、ミレリブクナリ。存亡ハ在ル

トホロブルトナリ。進退ニミナ存亡アリ。進退ニヨリテ存亡ヲナス。吉凶ハナ

レアリテ。人事ヲ主トス。而ノ其道理。ミナ易ノ辭ニソナハレリ。推

辭考卦可以知變象與占在其中矣易ノ用四

イヘ。動クヲ以テ主トス。言モ亦動ニ屬ス。今易ヲ用ル者、辭ノ意ヲ推シ求
メテ、卦ノ象ヲ考ヘ見バ、動クニ尚ブノ変ヲ知ルベシ。而シテ象ハ卦ニツキ、占ハ
辭ニツクヲ以テホミナ
變ヲ求ル中ニアルナリ。君子居則觀其象而玩其辭

此ヨリ下ニ段ハ。又繫辭ノ文ヲ引キ。君子易ヲ學シテコレヲ用ル大槩ヲ論ム
フノコレヲ學ビ用ルヲモ。亦ミナ辭ニ頼ルヲ見ル。蓋シ君子事ナクテ居ル
時ハ其象ヲ觀察シ、其辭ヲ玩味ス。事ヲ處スルノ
當否ヲ考フ。上ノ言動制器ノ一、皆此中ニアリ。動則觀其變而

玩其占。此動クハ。上ノ居ノ字ニ對シ。只事アリテ筮占スル時ヲ云ナリ。
事アル時ハ。則筮ノ其時ノ變ヲ見テ、其占ノ辭ヲ玩ビ、值フ所ノ
吉凶ヲ考フ。得於辭不達其意者有矣。未有不得

辭而能通其意者也。易ノ辭ハ。モト卦及ノ象ニヨリテコレ
ヲ繫クトイヘ。トス。テニ其辭アル時ハ。
則象ト變占ト。皆其中ニ寓ス。ヨリテ亦辭ヲ以テ。上文ヲスベテ云ク。ソレ辭ノ
文義ヲ得テ、イマダソノ意味ニ達セザル者ハアラナイマダ辭ニ得ズメヨク

其意ニ達スル者ハ、アルマニキナリ。ヨク其意ヲ
得ル時ハ。象ト變占トノ義ハ。ミナ其内ニアリ。至微者、理也。至
著者、象也。體用一源、顯微無間、觀會通以

行其典禮、則辭無所不備。理ハ形ナキ故ニ至リテ微ナ
ル者ナリ。此理ノ事物ニアラ
ハル象ハ、タレモ見ルフナル故ニ。至リテ著ナル者ナリ。理ハ微ニメ、体ナリ象

ハ顯ニメ用ナリ。理ヨリメ見レバ、象其中ニアリ。象ヨリメ見レバ、理其中ニア
リ。体用ソノ源ヲ一ツニメ、顯微ノ間ナキ者ナリ。會ハ理ノアツマレル處、通ハ
其理ノ行ハル、處、典禮トハ、常法ト云ガ如シ。今一事ヲ行フ時、衆理ノ會セル

間ニ、ラノツカラ通りテ行ハル、當然ノ處アリ。コレヲ會通ト云、ソノ通ズル
所、即常ニ行ハル、道ナルガ故ニ、典禮ト云ナリ。コレ云意ハ、天下ノ變無窮ニ
メ、紛亂ストイヘ。体用顯微、モト混上ノ者ナルニヨリテ、則事ニ隨ヒ、理ノ會
通ヲ見テ、以テソノ常法トスル所、行ハルベシ。而シテカクノ如クニ、明メガタク
處シガタキヲ、能スル所以ノ道モ、亦易
ノ辭ニツナハラスト云、トナレトナリ。故善學者、求言必

自近易於近者非知言者也。ヨクコ、口エテ學フ者ハ。經ヲ解キ道ヲ語ルノ

說ヲ求ル。必近キ處ヨリユレヲ説ク。モレ近キヲアナドリテ。遠キニ求ルハ。コレ高妙ノ說ヲ好ム者ナリ。說ヲ立ルノ道ヲ知ル者ニアラスト。コレハ泛ク云詞ナリ。易ニツイテハ。辭ヲ近シトシ。意ヲ遠シトス。予所傳者辭也由辭以得

意則在乎人焉。ワカ今此經ニ傳スル所ノ說ハ。只其辭ノタメナリ。辭ノ義ヲ明スニ由リテ其意ヲ會得スルハ。即

伊川先生答張闕中書曰。張闕中公程子ノ門人ナリ。易傳未

傳自量精力未衰尚覲有少進爾。易ニツイテ見ル處ナシ少キ

來書云易之義本起於

數非也。義トハ辭ノ義ヲサス。數トハ二ニ始マリ。五ニ會シトニ成ルノ類ヲ云。有理而後有

象有象而後有數。按スルニ聖人マツ陰陽動靜ノ理ヲ見テ。一奇一耦ヲ書ス。奇耦ノ書ステニ二ノ數アリ。又方圓ノ象アリ。象數モト先後ナシ。サレバ易ハ象ヲ以テ主トスル故ニ。カクノ如ク云ナルベシ。易因象以明

理由象以知數得其義則象數在其中矣。易トハ今ノ卦及ニ辭ノカ、レル經ヲサス。ソレ理ハ形ナク。象數ノ先ニアレバ。象數ニヨリテコトづくアラハル。易ノ辭ハ。即此理ヲアラハシテ。明ニスル者ナリ。コノ故ニ辭ノ義ヲ得ル時ハ。象數ミナ其中ニアリ。理無形也故因象以明

理既見乎辭矣則可由辭以觀象故曰

得其義則象數在其中矣。義上見必欲窮象

之隱微盡數之毫忽乃尋流逐末術家之

所尚非儒者之所務也隱微ハカクシテカスカナリ。毫忽ハ三ナ小數ノ名。理ハ本源ニノ象

數ハ末流ナリ。末流ヲ逐ヒ尋ヌレバ。必本源ヲ忘ル。術家トハ京房郭璞カ數ニヨリテ。未來ヲ推スノ類ヲ云。儒者ノ學ハ理ヲ主トス。象數ハ其務ムル所ニアラザ

ルナリ。

知時識勢學易之大方也時ニ盛衰常變アリ。勢ニ強弱

勢イマダセラレガレバ。コレヲスルヲアタハス。勢方ニスベケレバ。時イマダセラレガレバ。コレヲスルニ宜シカラズ。此ニツノ者ヲ知ル。易マナア方

ノ大イナル所ナリ。然レバ。合セテイヘバ。共ニコレ時ナリ。コノ故ニ。時ノ一字ヲ。易道ノ簡要トス。

大畜初二乾體剛健而不足以進大畜ノ卦ハ下

ノオハ健ナリ。艮ノオハ止ル。此卦艮上ニアリテ。乾ノ純陽ヲ止メ畜ムソノ畜ル所大イナルヲ以テ大畜ト名ツク。初九九二ハ本三ニ乾體ニ剛健ナレバ。畜ノ時ニアタリ。又下ニ居テ勢ヨハキ故ニ進ム

トアルニ足ラス。コレ宜ク進マザルベキナリ。四五陰柔而能止六四六五ハ本三ニ陰柔ナレバ。畜ノ時ヲ得タリ。又上ニ居テ勢ツ

止ヨキ故ニ。ヨク下ノ妄ニ進ム者ヲ止ム。コレ宜ク止ムベキナリ。時之

盛衰勢之強弱學易者所宜深識也

諸卦一五雖不當位多以中為美凡ソ六爻ノ位。初三五ヲ陽位

トス。二四上ヲ陰位トス。陽爻ニノ陽位ニ居リ。陰爻ニノ陰位ニ居ルヲ。位ニ當ルトス。又ソノ位ト陰陽相違ヘルヲ。位ニ當ラズトス。二ト五トハ。上下卦ノ中

位ナリ。ヨリテ其爻位ニ當ラズトイヘバ。多クハ中道ヲ得テ美ナリ。三四雖當位或以不中

為過三四ハ其爻位ニアタレバ。或ハソノ中中常重於正也ハツクニ

位ニアタレルヲ正トス。蓋中則不違於正。正不必申

也。時ニ官キ中道ヲ得レバ。イツトテモ正理ニ違ハス。只理ノ正キト云バカ

天下之理莫善於中。於九二六五可見。

ハ。ミナ位ニアタラザレド。ソノ中ナルヲ以テ善キト多キナリ。

問胡先生解九四作太子恐不是卦義。

ハ。瑗字ハ翼之。安定先生ト稱ス。ソノ易ヲ解クニ。九四ヲ以テ太子ノ象トス。或人コレ必シモ卦ノ本義ナラシト疑フ。先生云亦

不妨。太子トスル。只看如何用。

儲貳則做儲貳使。太子トナリ。九四ヲ太子トナ

四近君便作儲貳亦不害。

トスルニ。但不要拘一若執一事則三百八十

四爻只作得三百八十四件事便休了。

一事ニ拘ラシテ求メザレ。モレ只一事ヲ執着ノ。一爻ニアテバ。六十四

看易且要知時。凡六爻人人有

用聖人自有聖人用賢人自有賢人用衆

人自有衆人用學者自有學者用君有君

用臣有臣用無所不通。因問坤卦是臣之

事人君有用處否先生曰是何無用如厚トクテノ事カ德載物人君安可不用イツクシツナリ。君子地ノ道ヲ用ヒ。深厚ノ德

アリテ。庶物ヲウケノス。即コレ人君ノ道ナリ。

易中只是言反復往來上下。コレハ孔子ノ彖傳ノ例

ヘルナリ。陰極リテ陽復シ。陽極リテ陰生ス。始ト復トノ類ナリ。往來ハ兩卦ノ間陰陽カナタコナタヘ往來入リカハルヲアリコレヲ卦變ト云。貞。无妄トノ類ナリ。上下ハ三畫ノ卦上リ下リテ相カハル。咸ト恒トノ類ナリ。

作易自天地幽明至千昆蟲草木微物無

不合。ト云フハ昆蟲ハモロノノムシナリ。聖人易ノ制作天地幽明ノ大イナルヲリ。諸草木微細ノ物ニ至ルニテ。其理ニ合ハスト云。ナシ蓋シ萬

理モト一貫スレハナリ。

今時人看易皆不識得易是何物只就上

穿鑿。卦文ノ本意ヲ知り得ズノ只辭ノ若念得不熟與就

上添一德亦不覺多就上減一德亦不覺

少。モシ本文ヲ念誦シ得熟セザル者ノタメニ卦文ノ徳ヲ一ツソヘ一ツヘ譬如不識此兀子若減

一隻脚亦不知是少若添一隻亦不知是

多若識則自添減不得也。兀子トハ腰カケテ坐スル者ナリ。一隻トハヒトツ物ヲ云。

彼方ノ兀子ハ。大抵三脚ナリ。程子ソノ時坐セラレタル兀子ヲ以テタトヘトス。此兀子何ノ用用知ラザル者ハ脚ノ數ヲモ知ラズ。モレコレヲ知ル者ニハ脚ヲマストモヘラストモ得ザルガ如シトナリ。

游定夫問伊川。陰陽不測之謂神。

伊川曰。賢是疑了問。是棟難底問。

疑ヒ思ヒテモ。ツイニトケザルニヨリテ問カ。又只トケ難キヲエラビ出シテ問カトソノ已ニ反リテ。熟思セシメシタメニ答ヘラレザルナリ。

伊川以易傳示門人曰。只說得七分後人。

更須自體究。云。蓋シ義理キハマリナク。聖人ノ心モ亦キハマリナキ故ニ。傳義ノイマタクサバル所ヲ。

後學ニユヅリテ。カクノ如クイヘリ。

伊川先生春秋傳序曰。天之生民。必有其

類之才。起而君長之。此ヨリ下ハ帝王治世ノ盛衰ヲ述テ。夫子春秋作り玉フ端ヲヒラケリ。出類之

オトハ衆類ニヌキンデタル。聖賢ヲ云。長ハオサナリ。民ニ君治之而

長トノ治メ教ルハ。即コレ天ヨリ民ノタメニ命スル所ナリ。治之而

爭奪息。導之而生養。遂教之而倫理明。然

後人道立。天道成。地道平。法度ヲ以テコレヲ治ルニヨ

桑漁獵等ノ一ヲ導クニヨリテ。民ノ生ヲ保キ身ヲ養フノ一遂ク孝身忠信ノ

教ヲレキテ。五倫ノ條理明ナリ。以上即人道ノ立ツナリ。人君天命ヲウケテ。人

民ヲ治メ。天地ノ化育ヲタスク。天地ノ道亦コレニヨリテ成就平定ノ災變オコラザルナリ。二帝而上聖賢

世出隨時有作。堯舜ヨリ以上聖賢世々ニ出テ。民ノタメニ特ニ隨テ製作アリ。而農桑漁獵官室衣服等ノ一トコ

順乎風氣之宜不先天以開人各因時

而立政聖賢世々ニ製作アリトイヘド。ミナ風俗氣運ノ時宜ニ順フ。天

九ノ政ヲ立ル。各ソノ時ノ宜キ所ニヨレリ。暨乎三王迭興三重既備子

丑寅之建正忠質文之更尚人道備矣天

運周矣三王ハ夏殷周ノ王。三重ハ三王ノ礼ナリ。三代ノ正月。夏ハ寅ノ

月ニタツ。人正ナリ。殷ハ丑ノ月ニタツ。地正ナリ。周ハ子ノ月ニ

タツ。天正ナリ。コレ天地人ノ始ヲ擬入忠ハマコト。質ハスナホ。文ハアヤナリ。

夏ノ礼ハ忠實ヲ尚ビテ。文スクナシ。殷ノ礼ハホ。文アレド。ナラ質彬ナリ。周

ノ礼ハ文飾サカンナリ。コレミナ三重ノ内ノ一ナリ。蓋シ三王ツギオコルニ

及シテ。人道カクノ如クニ悉ク備リ。天運ノ人ニ應スル。一モ周備ニ至ラス

ト云所ナレ聖王既不復作三代以後有天下者雖欲

倣古之跡亦私意妄為而已先王ノ道ホ口ビ。礼スル

正秦ノ始皇。三正ノ義ヲステ。ソノヨク周ノ火徳ニ勝ツヲ以テ。自水徳ノ運

道也上ニ段夫子當用之末以聖人不復作

也順天應時之治不復有也於是作春秋

為百王不易之大法コレヨリ下ハ。夫子春秋作り玉。フ申緒

道也上ニ段夫子當用之末以聖人不復作

也順天應時之治不復有也於是作春秋

為百王不易之大法コレヨリ下ハ。夫子春秋作り玉。フ申緒

春秋ハモト魯國ノ史記ノ名本國并ニ列國ノ一ヲ共ニ記録ス然ルニ世オト
トヘテ先王ノ道ス久シ史官善ヲ褒メ惡ヲ貶シムルノ書法正シカラス而ノ
夫子帝主ノ徳アレト時ニアハス位ヲ得テ政ヲシ玉フコトヤタハサル故ニ魯
ノ憲公ヨリ以來其時々テ二百四十年間ノ史記ニヨリソノ褒貶ノ書法ヲ改
メ正シウメ王政ヲ此書ニ寓セラキ玉フコレ乃チ後來百世
ノ王者其義ヲ變易セラレサル世ヲ治ルノ大法トナレリ

所謂考諸

三王而不繇建諸天地而不恃質諸鬼神

而無疑百世以俟聖人而不惑者也

道ヲ贊スル詞ヲ借り用フ春秋ノ義三王ノ法ニ考ヘ合セテタガフナレ其
義ヲタテ天地ノ道ト向ヒアハスルニ相モトル所ナレ鬼神ノ徳幽ナリト
イヘ其法ヲカノ變化ノ妙ニ相タレテタガフベキカノ疑ナレ又只今ノ
時ノミナラス百世ノ後聖人イテコレヲ用ルヲマテモ自信スル所アル
故ニイカバアラント

先儒之傳曰游夏不能贊一

辭此語史記ノ世家ニ見エタリ云意ハ孔門ノ子游子夏文學ニ辭不

待贊也言不能與於斯耳程子オモヘラク春秋ノ辭ハ斯道也

一ナレ先儒ノ云意ハ游夏カ學イマタ其義ヲ聞クニ典ル一

惟顔子嘗聞之矣孔門ニタハ顔子ノミ春秋行夏之

時乘殷之輅服周之冕樂則韶舞此其準

的也コレ論語ヲ引ケリ夏ノ時ハ寅ノ月ヲ爲首トスルノ時今ナリ輅ハ

夏ノ時ハ人事ヲ行フニ最宜キニカナヘリ殷ノ輅ハ質ニ輅ノ中制一カナ

者ナリ準ハ表ヲ立ルサケスミ的ハ弓ヲ射ルマトナリスベテ法則ノ一ヲ云顔
子邦ヲ治ルガヲ問ケレバ夫子四代ノ禮樂ヲクミアハセ萬世ノ通法ヲ定メ

テ告ケ玉フ。其理即コレ春秋ニ列國ノ政事ヲ褒貶ノ世ヲオサムルノ法則トシ玉ヘル者ナリヨリテ顔子春秋ノ義ヲ聞クニ與レルヲ知ルトナリ。
後世以史視春秋謂褒善貶惡而已至於
經世之大法則不知也
此ヨリ下ハ後世春秋ヲヨムノ非ヲ正スニヨリテソノ見ガタキヲイヒテソノ傳作ル端ヲオコセリ後世ノ人春秋ヲヨムツ子ノ史ノ如クニ見テ只其事ノ善惡ヲ褒貶シタルノミト思ヘリソノ世ヲオサムルノ大法ヲル一テハコレ

ヲ知ルニ及バス
春秋大義數十其義雖大炳如日
春秋ノ大義ハ君ヲ尊ビ臣ヲ卑クシ王道ヲアカメ覇

星乃易見也
春秋ノ太義ハ君ヲ尊ビ臣ヲ卑クシ王道ヲアカメ覇

其義ハ三十大イナルヲナシモ明白ニ見ヤス
惟其微辭隱義時措從宜者

為難知也
只微ニモ明ナラヌ辭隱シテ顯ハレザル義時ニ隨テハカ

或抑或縱或與或奪或進或退或微或

顯而得乎義理之安文質之中寬猛之宜

是非之公乃制事之權衡揆道之模範也

此段即微辭隱義時措從宜ノ一ヲ云或ハ功アリテサヘ或ハ罪アリテユルシ或ハ功イニ成ラサルニ褒ゴアタヘ或ハ罪イニ成ラハレサルニ貶ノムバヒ或ハ擧ケレテコレヲ退ケ或ハ擧シケレテコレヲ進メ或ハ辭ヲ婉ニメカクシ或ハ辭ヲ直クシテアラハレテ皆ソノ義理ノ中道ニアタリテ安ク文質ホトヨクモ華ナラス儻ナラス寛ナルニモ猛キニモスキズメ其宜キニカナヒ是トシ非トスル所私ナクメ公ニ歸スコレ即政事ヲサダムルノ權衡常道ヲハカルノ模範ナリ權衡模範ハミナ法式ノ一ヲ云模範ハ工匠ノ物ヲツクルカタナリ
夫觀百物然後識化工之神聚衆材然後知作室之用於

一事一義而欲窺聖人之用心非上智不能也故學春秋者必優游涵泳默識心通然後能造其微也
此段上四句ハ下文ノタトヘナリ。化工トハ天地ノ物ヲ造化スルヲ工匠ノ物ヲ作ルガ如クナルヲ云。シ百物ヲワナヘ見テ後ニ造化ノ神妙ナルヲ知ル衆材ヲアツメソロヘテ後ニヤツクリノ用足ルヲ知ル。モ只一事一義ヲ以テ聖人心ヲ用ヒ王ヘル深キ處ヲウカバハントセバ上智ノ賢者ニアラザレバアタハスコノ故ニ春秋ヲ學フ者ハ必始終ノ事義ヲ合セカンガヘ優游ノユタカニ涵泳ノヒタリ。默シテサトリ心ツラスキ通リテ然ノ後ニヨクワノ微妙處ニ至ルナリ。後王知春秋之義則雖德非禹湯尚可以法三代之治
此ヨハ傳ツクルノ由ヲ述ブ。下ノ句云意ハ三代ノ治法ヲナラヒ用ルヲ子カハルベシトナリ。自秦而下其學

不傳予悼夫聖人之志不明於後世也故作傳以明之
聖人ノ志トハソノ百主治世ノ大法トシ玉フ志ナリ。俾後之人通其文而求其義得其意而法其用則三代可復也
義ハ文ノ義意ハ用ノ意ナリ。三代可復トハ三代ノ政治。今ノ世ニカヘシ行ハレシトナリ。是傳也雖未能極聖人之蘊奧庶幾學者得其門而入矣
蘊奧トハ内ニ蘊テ。奥フカキ處ナリ。詩書載道之文春秋聖人之用
聖人ノ作用ハ即道ノ行ハル處ナリ。詩書如藥方春秋如用藥治病
上文ノタトヘナリ。聖人

之用全在此書所謂不如載之行事深切

著明者也コレ夫子ノ語史記ニ見エタリ其全丈ノ云意ハワレ徒ニ

有重疊言者如フ所ノ事ニノセテコレヲ褒貶スルガ深ク切ニ

征伐盟會之類盟會トハ諸侯事アレバ覇主ノ國ニ會リ五ニ約

蓋欲成書勢須如此不可ナケレバ同ト事ヲガカサ子記スベキ勢ナリヨ

事事各求異義ム者事々ニツノ異

但一字有異或上下文異則義

須別義ヲ求ムベカラズ

五經之有春秋猶法律之有斷例也律令

唯言其法至於斷例則始見其法之用也法ハ法令ヲ云。法度ノ條目ナリ。律ハ刑律ヲ云。刑罰ノ法制ナリ。斷例トハ事ヲ

斷例ノ如クナリハナラ其法ヲ用ル

學春秋亦善一句是一事是非便見於此

此亦窮理之要春秋ハ一句即コレト事ナル故ニソノ是非

他經豈不可以窮理但他經論其義春秋

因其行事是非較著故窮理為要コレ申子テ窮

嘗語學者且先讀論語孟子更讀一

經然後看春秋先識得箇義理方可看春

秋更讀一經トハ。蓋シ易中庸ノ類ヲサス春秋ハ窮理ノ要アリトイヘ凡而

春秋以何為準無如中庸權ヲ知ルヲ

欲知中庸無如權須ノ法則ヲ知ラントレバ過不及ナ

是時而為中中庸ノ理ヲ知ラニク欲セバ義ヲハカルノ權ヲ用ル

若以手足胼胝閉戸不出二

者之間取中便不是中此ヨリ下ハ又事ヲアケテ時中ノ

若當手足胼胝則於此

為中當閉戸不出則於此為中上ノ此ハ手足胼胝

權之為言秤錘之義也權ト云フ

何物為權義也時也中庸ヲ知ルニハ何

只是說得到義義以上更難說

在人自看如何只下事ニツキテソノ時宜ニカナフノ義ニハナ

二隨テ其義萬変スルノ權ハ聖人ノ妙用ナリコレ詞ヲ

以テ説キガタシ人自心ヲ以テイカント見ルベキナリ

春秋傳為按經為斷

春秋ノ傳ハ左氏公羊氏穀梁氏ノ三傳アリ。按ハ公羊氏ナリ。訟ヲキクニ是非ノ

事實ヲキ、定メタルヲ案ト云。案ニヨリテ判断メ法ヲ用ルヲ斷ト云。蓋シ傳ノ事迹ヲ以テ案トシ。經ノ褒貶ヲ以テ斷トスルナリ。又云

某年二十時看春秋黃犖隅問某如何看

イカヤウニ見ルゾト。某答曰以傳考經之事迹

經別傳之真偽

凡讀史不徒要記事須要識其治亂安

危興廢存亡之理

且如讀高帝紀便須

識得漢家四百年終始治亂當如何是亦

學也

先生每讀史到一半便掩卷思量料其成

敗然後却看

有不合處又更精思

其間多有幸而成不幸而敗

見ルナリ。

後ニ其末ヲ見ルナリ。

キフノ不幸ニノ 今人只見成者便以為是敗者
敗ルノ多シ。便以為非不知成者怒有不是敗者怒有
是底。

讀史須見聖賢所存治亂之機。機ハ事ノ由リテハ
シニル所ナリ。按ズ

賢人君子出處進退便是格。賢人君子ノ出テ、仕ハ隱レテ處リ。進ミイテ退キ
去ル迹ヲ見テコレニ法トル。即コレ格物ノ學ナリ。

元祐中客有見伊川者凡察間無他書惟

印行唐鑑一部。元祐ハ宋ノ哲宗ノ年号ナリ。印行トハ書ヲ板ニ
如シ。印ノ世ニ行フゾ。唐鑑ハ程子ノ門人范祖禹
字ハ淳夫カ著ス所。唐朝ノ事ヲ論ス。淳夫カツ
テ伊川ト共ニ論ジタル説ヲ盡ク用ヒタルゾ。

此書二代以後無此議論。ホメテ
ナリ。

横渠先生曰序卦不可謂非聖人之蘊。序卦
人ノ蘊ニアタラスト云ハコレ晋ノ韓康伯カ説ナリ。ソノ義
理淺クメ。聖道ノ蘊ニアラスト而メ張子コレヲ非トス。

置十物猶求審處。安モ置ナリ。審處トハツ
ニビラカニハカテフゾ。况聖人之
於易。易トハ易卦ヲキ
ツバケテ云。其間雖无極至精義大槩

皆有意思。意趣ノ
義ナリ。觀聖人之書須遍布細密

如是凡ノ聖人ノ書ヲ見ルニソノ遍ク布キツラ大匠豈以一

斧可知哉太工ノタクミナル所斧一手ニテハ

天官之職須襟懷洪大方看得周禮ノ六卿天地春

蓋其規模至ケツカガドリテ天官冢宰ハソノ長ナリ襟ハエリ

大規模ノ字義前ニ見エタリソノスブル所若不得此心欲

事事上致曲窮究湊合此心如是大必

不能得也曲トハカタハレヲ云湊ハスベアツムル義ナリモレツ

釋氏鑑タハシノ處ヨリ一ツノ致シ究メテ其心ニスベアハセント

銖天地可謂至大矣銖ハハカリメノ少キナル者ナリ

然不嘗為大則為事不得見ル處大イナリト

若界之一錢則必亂矣モレ

又曰太宰之職難看モレ

蓋無許大心曾包羅記得此復忘彼包羅トハ包ハカヌルナリ

其混混天下之事當如捕龍蛇搏虎豹用

心力看方可混々ハ大水ノ流ル、ヲ云天官ノツカサドル天下ノ

事カクノ如シトナリ如捕龍蛇搏虎豹トハ柳子厚カ

韓退子ガ文ヲホメタル詞ナリ云意ハカクノ如クニイサミ
テソヨクハカヲソケテ見ハ則ハレメテ見得トナリ
其他五

官便易看止一職也
五官ハ地官司徒春官宗伯夏官司馬秋官司寇冬官司空ナリ

古人能知詩者唯孟子為其以意逆志也

以意逆志トハ已ガ意ヲ以テ詩人ノ志ヲソノ情ノマニ
ムカヘトルゾコレ即孟子詩ヲヨムノ法ヲイヘル詞ナリ
夫詩人之

志至平易不必為艱嶮求之
詩人ノ志モト平カニ易
ラカナリ必シモ艱

今以艱嶮求詩則已喪其本心
今以艱嶮求詩則已喪其本心

何由見詩人之志
喪其本心トハ其
見ル本意ヲ失 詩人之情性

溫厚平易老成本平地上道着言語
溫厚ハオ
ダヤカニ

今須以嶮
嶮ハ
サカキ

嶮求之先其心已狹隘了則無由見得
嶮ハ
サカキ

詩人之情本樂易
樂易ハタ
リ俗ニ云
キゲンノ
ヨキゾ 只

為時事拂着他樂易之性故以詩道其志

時ニアフ所ノ事カノ樂易ノ情ニ拂リサカフニヨ
リテタヘカ子テ詩ヲ以テ志ノイヒノフルナリ

尚書難看蓋難得曾臆如此之大
臆モム子ナリ
書ハ二帝三王

只欲解義
只欲解義

則無難也
義ハ文
義ナリ

讀書少則無由考校得義精讀書少トハヨム時ノス

蓋書以維持此心維持トハツナキタモ

時放下則一時德性有懈放下トハ書ヲヨム

則此心常在常ニ存在不讀書則終看義理不

見心存セザル

書須成誦ヨクオボエテ精思多在夜中或靜

坐得之不記則思不起思ヒミテ其義ヲ得ル

氣ノ靜ナル時或ハ靜坐ノ心存スル時ニアリ蓋シ記得スル時ハソノ文字生

ケサトハ一アリモシ記得セザル時ハ則文字死セルガ如クニ但通貫

得大原後書亦易記學者義理ノ大本原ニ貫通シ得レバ書

則須ク記シ得テ去ル處ナカルベシト蓋シ書ハオホユルニヨリテ其義ヲ

所以觀書者釋己之疑亦オボエヤス

明己之未達疑ハ今マデノ不審未達每見每知新益

則學進矣書ヲ見ルダビコトニ必新キ益ヲ得於不疑處

有疑方是進矣コレハハジメテ進ム時ナリコレヨリ

六經須循環理會古ハ易書詩禮樂春秋六經トス而ノ樂經

中庸の義理

リ循環トハ環ヲ循ラスガ如クニヲハリテ又ハジニ義理儘無窮

待自家長得一格則又見得別聖賢ノ書モト義理

故ニ自家ノ學一格長スル時ハ經義ヲ見ルル亦一重深シ循環スハキ所以ナリ

如中庸文字輩直須句句理會過使其言

互相發明中庸ノ如キ編ノ文字ノ輩ハ其旨始終相貫ケリコノ故

相テラレテ其義ヲ互ニ發明セシムベキナリ

春秋之書在古無有乃仲尼所自作惟孟

子能知之非理明義精殆未可學時中ノ權ニアツカル者ニ

先儒未及此而治之故其

說多鑿イマタ義理精明ナルニ及ハスノ端リ求メ

一トアキツロク

